

会 議 録

会議名	令和6年度 第1回館山市文化財保存活用地域計画作成協議会
開催日時	令和6年8月6日(火) 午後1時30分から午後3時20分
開催場所	館山市役所本館2階会議室
出席者	館山市文化財保存活用地域計画作成協議会委員 10名 (菅根会長、池田副会長、青木委員、矢尾委員、熊田委員、石川委員、四柳委員、黒川委員、山川委員、内堀委員) 千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班 黒沢班長 館山市教育委員会 5名 (石井教育長、三浦教育部長、池田文化財係長、水島、岡田)
公開・非公開の別	公開
傍聴者	4 名

発言者	発言内容 (●委員 ○事務局)
池田	1. 開会 (資料確認)
石井教育長	2. 教育長あいさつ
	3. 委嘱状交付
	4. 会長・副会長の選出
	5. 議題・説明事項 (菅根会長進行)
池田	(1) 文化財保護のあゆみと指定等文化財 (資料により説明)
池田	(2) 館山市文化財保存活用地域計画の作成について (資料により説明)
池田副会長	●配布資料3-2のリストは指定の有無にかかわらず掲載されているのか。
池田	○今回示したリストは指定の有無にかかわらず掲載している。建造物に関しては既刊の報告書を基にリスト化を行った。指定されているものは備考欄に記載されている。
池田副会長 池田	●戦争遺跡が「除く」と記載されているのはなぜか。 ○15頁にリスト案を掲載している。戦争遺跡は特徴がある類型であるため個別にリストを作成する。
菅根会長	●県指定など記載されていないものは事務局でリストアップしたものか。
池田	○その通りである。
菅根会長 岡田	●リストアップの基準は何か。 ○建造物は昭和初期以前のものを基準とし、性格によってリスト化する。

菅根会長	るか考えている。古いあるいは特徴的と判断できるものについてはまずはリスト化し、その後除外すべきかどうか協議会で協議してほしい。 ●リストアップの基準を決めたい。最初は多くのものをリスト化の対象としても良いと考える。その中から対象になるものを考えたい。
池田副会長	●リストの中に昭和35年建設の建造物は市役所を除き見当たらないが、その理由を教えてほしい。 ○市役所の建物として古いため。 ○県内の庁舎の中でも古い建物である。
岡田 池田	
石川委員	●文化財リスト案を見ると、関連文化財群のストーリーやテーマについては今の行政単位で書くことが難しい。歴史の流れや昔の地域の区分けでないと書くことができないと思うが、その辺は柔軟に対応していけるのか。 ○旧町村単位の10地区であれば市民の方にとってもわかりやすくなるため、ある程度は旧町村の特性を活かしたい。ストーリーやテーマは3～5つほどがちょうどよいと考えている。
池田	
石川委員	●様々な項目でリスト化し、その中からテーマを設定するのか。 ○その通りである。
池田	
池田副会長	●17頁の小高記念館が「旧古川銀行鴨川支店」と記載されている。名称は変わったのか。 ○リストを作成する際は現在の指定名称にこだわらず、当時の名称を基本としている。旧安房高等女学校第一校舎も指定名称とは異なるものとなっている。
池田	
菅根会長 四柳委員 菅根会長 黒沢氏	●タイムスケジュールはタイトではないか。 ●少しタイトな気もするが、不可能ではない。 ●とてもタイトな気がするが。 ●文化庁との協議では、館山市は今までの作成自治体の中でもまとまっていると評価をもらっている。何カ所か地域計画に関わっているが、極めて考えがしっかりしていて、スムーズに進めば問題ないと考えている。
菅根会長	●博物館の方の意見をもう少し活用した方が良い。
四柳委員	●史跡リストについて、視認できるものがほとんどだが、長須賀条里制遺跡などの畑の中にある遺跡や沖ノ島なども地域の特徴的な遺跡のためリストに入れた方が良い。
菅根会長 岡田	●無形文化財についてはまだリスト化はしていないのか。 ○今回提示しているリストは現在作成しているリストの一部にすぎず、無形文化財に関してもリスト化は進めている。

池田副会長 池田	●リストは一覧に記載されているもの以外にも今後作成するのか。 ○一覧に載せているものは既に作成がほぼ出来つつあるもの。その中からわかりやすいものとして建造物と史跡の2つを示している。
菅根会長 池田	●今回は有形だけ示したということか。 ○その通りである。
矢尾委員 池田	●参考資料の措置表は良くできていると思う。特に課題がきちんと整理されている。このように課題を整理し具体的な対策を考え、参考資料のような表を作るのか。 ○その通りである。
矢尾委員 池田	●どのタイミングで作成するのか。 ○今年度後半にはある程度の計画の形を作りたい。措置表は今年度中にまとめる。来年度の初回の協議会で確認してもらい、内容を固めていきたい。
池田	(3) 館山市文化財保存活用地域計画作成協議会の運営について(資料により説明)
菅根会長 池田	●とてもタイトなスケジュールである。特に後半はタイトである。このスケジュールで大丈夫か。 ○文化庁の指針に2年間で作成する場合のスケジュール案が示されており、その指針に則ってスケジュールを立てている。順調に作成作業が進んだ場合はこのスケジュールで作成可能と考えている。
池田 菅根会長 池田 菅根会長 池田	(4) アンケートの実施について(資料により説明) ●アンケートが9月30日までの理由はあるか。 ○アンケートは1か月あれば十分だと考えている。 ●アンケートの結果はどのように利用するのか。 ○次回協議会を11月ごろに予定しているため、その時にアンケート結果と分析結果を情報共有する。それを踏まえて措置表の課題や具体的な事業を検討したい。
内堀委員 池田	●アンケートの改善の意見があった場合は、直したものを共有できるか。 ○その都度共有したいと考えている。
池田副会長 池田	●動作確認用はテスト用か。 ○動作確認用はテスト用である。設問に答えつつ、その設問に関しての意見を書いてほしい。
池田副会長	●Q6はある程度選択肢があった方が回答する側は簡単にできると思う。

池田	○Q 5 と Q 6 は記入例を書いているが、記入例があった方がわかりやすいという意見と記入例があると答えが引っ張られてしまうという意見がある。文化財になじみがない人も多いので、記入例を示したい。We b 版にも記入欄に記入例は入れている。
池田副会長	●知らない人にとって必須にするのは難しい。必須にするなら「わからない」の項目を入れた方が一般の人は答えやすくなる。
菅根会長	●必須にするのは難しい。
池田副会長	●「わからない」を選択できるようにし、「その他」で自由記述にするのはどうか。興味がなくわからない人がそこで止まってしまったら次に進みにくい。
菅根会長 池田 菅根会長	●答えがないとアンケートをクローズできないのか。 ○その通りである。 ●答えが無くてもアンケートを完結できるように必須はなるべく少なくした方が良い。「わからない」を入れても必須項目は回答できるか。
池田 菅根会長	○回答できる。何かしら回答してもらえればいい。 ●「無い場合はわからないと答えてください」など記載しないと、この設問で回答数が少なくなってしまう。
池田副会長	●Q 2 の住まいも「県外」の人は選択すると次の記入欄に都道府県を記入するということではよろしいか。
池田	○その通りである。We b 版だと「県外」を選択すると選択肢の下に都道府県を記入する欄が表示されるようになっている。
池田副会長	●文字を入力するのが面倒とを感じる人もいるのではないか。Q 5 や Q 6 はなるべく選択肢を示し回答してもらった方が良い。「わからない」という選択肢を含めて、「その他」を選択した際に自由記述が表示されるようにしてほしい。
菅根会長 池田 菅根会長	●アンケートのサンプルはあるのか。 ○他地域や市内の他のアンケートを参考にしている。 ●了解した。「わからない」でも回答できるように工夫してほしい。
池田副会長	●Q 7 の設問だと、この 1 年間だと赤山地下壕跡は休壕しているため選択する人がいない。戦争遺跡と括るのはどうか。
池田	○公開施設を前提にしているので、検討する。
池田副会長 池田	●Q 6 と Q 9 は設問の内容が似ていないか。 ○Q 6 は自由記述で思い浮かぶものを書いてもらう。具体的にどのような文化財に関心があるかを聞くのが Q 9。Q 9 は興味、関心に関する設問、Q 6 は館山を代表する文化財にすぐ思い浮かぶものを聞いているため別物であると考えている。

菅根会長	●これ以上アンケートを簡単にするのは難しい。アンケートのお知らせをする媒体は何になるのか。
池田	○市民に向けては広報紙、Facebook や X (旧 Twitter)、Line などの市の SNS を活用して発信する。若年層の回答も欲しいため市内の学校、大学にも協力を依頼したい。地元新聞にも掲載を依頼する。様々な機関の協力を得ながら周知したい。
池田副会長	●設問に突っかかると回答をやめてしまう。文化財に興味があれば回答を思いつくが、興味がない人は文化財とは何かという点から回答が出てこない。アンケートを進めると後から関心があるかどうかが出るなら Q 6 は不要ではないか。もしくは Q 9 の設問に「興味がない」を入れるのはどうか。
池田	○Q 9 は Q 8 で「興味がある」と回答した人にしか設問が表示されないように設定しているので、文化財に興味のある人にしか聞いていない。そのため Q 6 と区別はできている。
池田副会長	●文化財に興味のない人に自由記述で回答を求めるのはハードルが高い。
矢尾委員	●文化財のジャンルごとに興味を持っているか聞くことも有効である。幅広いジャンルの文化財を想定していることについてアンケートの最初で提示した方が一般の人にとってわかりやすくなるのではないか。
池田	○Web 上だと、アンケートの設問の前にアンケートを答える前提の説明がある。説明を読んだうえで回答できるようにしたい。
池田副会長	●Q 7 を Q 4 の下に表示したほうが答えやすくなるのではないか。わかりやすいものが前半にあった方が回答しやすくなる。
菅根会長	●そうした方が良いかもしれない。全体的に回答のハードルが高い。設問の順番について検討してほしい。
池田	○アンケートを作成した当初は、アンケートに回答する人はある程度文化財に関心がある人と想定していた。そのため、設問の難易度が高くなってしまっている。関心がない人など広く回答を求めたいため、自由記述をなるべく少なくする。「その他」「わからない」を選択してもらうことで他の意見を出してもらうようにしたい。アンケート自体の難易度を低くするよう検討したい。
菅根会長	●アンケートを実施して反応が全くない場合は内容が難しいということ。その場合は内容について再度考える必要がある。
	6. その他
	●池田副会長から N P O 法人安房文化遺産フォーラムの活動について情報提供
	●石川委員から非公開文化財の特別公開について情報提供

	7. 閉会
--	-------